

# 宮崎県内経済情勢報告

令和6年4月



## 財務省九州財務局宮崎財務事務所

〒880-0805 宮崎市橘通東 3-1-22 TEL. 0985-22-7101 (担当. 財務課)

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/miyazaki/index.html>



この資料は当所ウェブサイトに掲載しています。  
九州財務局宮崎財務事務所  
公式ウェブサイト




九州財務局  
公式 X (旧 Twitter)



九州財務局  
公式 Facebook

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	

（注）6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、食料品工業などが横ばいの状況のなか、海外需要の減少などの影響がみられ、電子部品・デバイス工業などが弱い動きとなっており、弱含んでいる。雇用情勢は、運輸業・郵便業などを中心に緩やかに改善しつつある。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	弱含んでいる	弱含んでいる	
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	

設備投資	5年度は減少見込み	5年度は減少見込み	
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は増益見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動などの影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売は、物価上昇の影響がみられるものの、人流の増加に伴い客足に戻りがみられることから緩やかに回復しつつある。コンビニエンスストア販売は、繁華街周辺の店舗を中心に好調となっている。ドラッグストア販売は、化粧品や食料品を中心に好調となっている。家電大型専門店販売は、低価格帯商品に需要が流れる動きがみられ弱含んでいる。ホームセンター販売は、横ばいとなっている。乗用車新車登録・届出台数は、一部メーカーの生産・出荷停止の影響により、弱含んでいる。レジャー・観光施設の入場者数及び宿泊者数は、団体客に戻りがみられ回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 物価高騰による節約意識の高まりなどにより衣料品の動きに鈍さがみられたが、催事の客入りが前年を上回っているなど、全体としては客足や売上が好調と評価している。(百貨店・スーパー)
- 都市部の繁華街周辺店舗では、観光客の増加により、好調となっている。(コンビニエンスストア)
- 外出機会の増加に伴い化粧品の売上が好調となっている。また、来店客数の増加により食料品の売上が伸長している。(ドラッグストア)
- 物価高騰による節約意識の高まりにより、新生活関連商品をはじめとして、低価格帯商品やより安価な商品に需要が流れる動きが一般的にみられている。(家電大型専門店)
- 来店客数が減少傾向にあるが、セール時のまとめ買いがみられ、売上の水準感は例年並みとなっている。(ホームセンター)
- 一部メーカーの生産・出荷停止の影響により受注を停止している車種があり、登録・届出台数が前年を下回っている。納期を踏まえ新車から中古車の購入にシフトする顧客もみられる。(自動車業界団体)
- インバウンド需要がアジア系外国人を中心に堅調となっている。また、春の行楽シーズンを迎え、国内外ともに大型バスで来訪する団体客が多くなっている。(レジャー・観光施設)
- プロスポーツキャンプの効果により、宿泊稼働率が高水準となった。また、学生向けのスポーツ大会や合宿についても多く開催されており、団体の宿泊客の増加がみられる。(宿泊業界団体)

### ■ 生産活動 「弱含んでいる」

食料品工業などが横ばいの状況のなか、海外需要の減少などの影響がみられ、電子部品・デバイス工業などが弱い動きとなっており、弱含んでいる。

- 病害の影響は前年度に比べ減少傾向となっているが、生産水準の回復には至っていない。(食料品工業)
- 部分肉・冷凍肉について、店頭販売価格の低下に伴い家庭向け需要が好調となっているほか、観光客の増加によりホテルや飲食店向けの外食需要も好調となっている。(食料品工業)
- 国内需要が回復傾向にあり、高い水準での生産となっている。(化学工業)
- 海外需要が依然として低迷している影響を受け、在庫調整の局面にあり、工場の稼働率が低い水準にとどまっている。(電子部品・デバイス工業)

### ■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、このところ低下している。新規求人数は、運輸業・郵便業などで前年を上回っている。

- 「運輸業、郵便業」は、従前からトラックドライバー等の人手不足が顕著で求人が増加傾向にあるなか、時間外労働の上限規制の適用を踏まえ、更に求人が増えている。(公的機関)
- 新卒採用について、不規則な勤務時間が敬遠され応募が少ない。計画の半分以上の採用にとどまり、人手不足が深刻化している。(宿泊施設)
- 継続的に従業員を募集しているものの、高い工場稼働率で操業が続いており、製造部門の従業員が慢性的に不足している。(化学工業)

- 設備投資 「5年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期
  - 製造業、非製造業ともに減少見込みとなっている。
- 企業収益 「5年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期
  - 製造業では増益見込み、非製造業では減益見込みとなっている。
- 住宅建設 「前年を上回っている」
  - 新設住宅着工戸数 (5年12月-6年2月) でみると、前年を上回っている。

#### 【その他の項目】

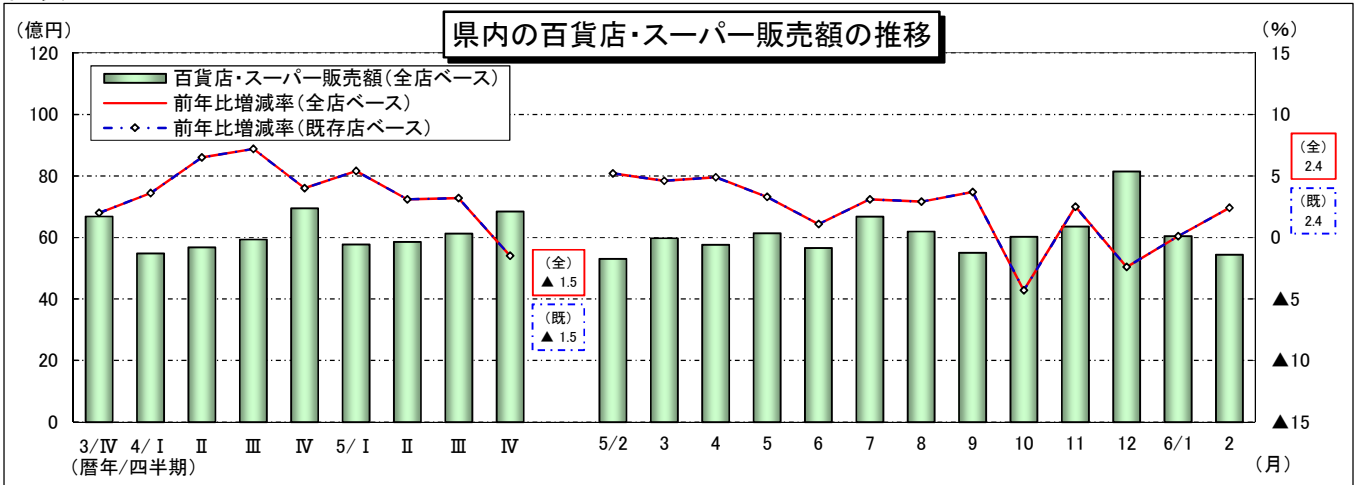
- 企業の景況感 「『上昇』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期
  - 6年1-3月期の景況判断 BSI をみると、全産業では「上昇」超となっている。なお、先行きについては、「下降」超となったのち、「上昇」超になる見通しとなっている。
- 公共事業 「前年度を上回っている」
  - 公共工事前払金保証統計の請負金額 (5年度累計) でみると、前年度を上回っている。
- 倒産 「件数、負債総額ともに前年を上回っている」
  - 企業倒産 (6年1-3月期) は、件数、負債総額ともに前年を上回っている。

## 参 考 資 料

1. 個人消費 . . . . . 参-1
2. 生産活動 . . . . . 参-4
3. 雇用情勢 . . . . . 参-5
4. 設備投資 . . . . . 参-6
5. 企業収益 . . . . . 参-7
6. 住宅建設 . . . . . 参-8
7. 企業の景況感 . . . . . 参-9
8. 公共事業 . . . . . 参-10
9. 倒産 . . . . . 参-11

# 1. 個人消費

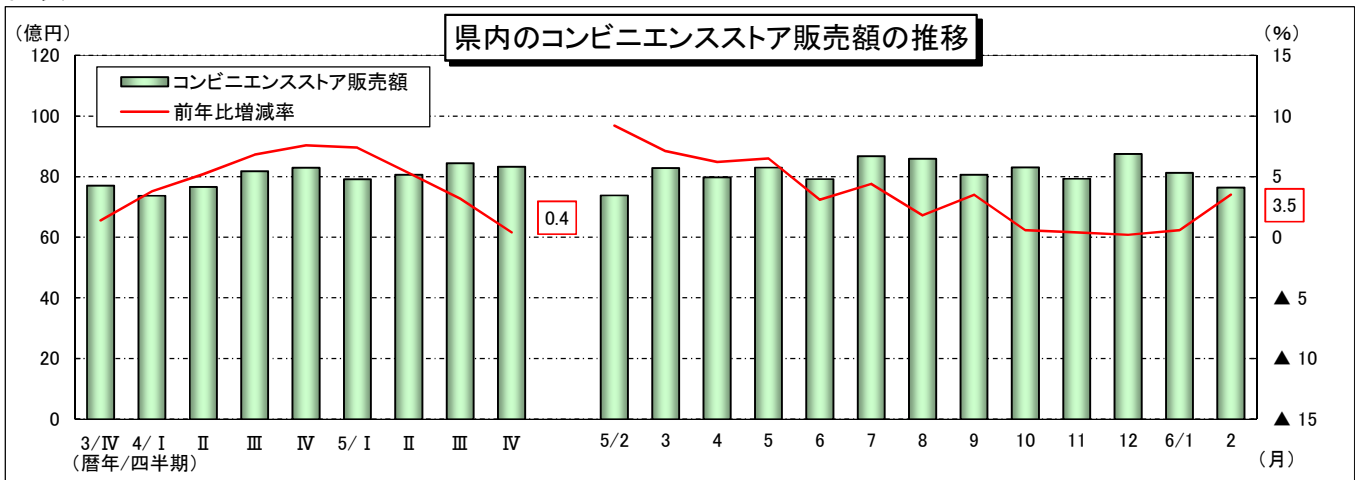
図表1



(注) 四半期の棒グラフは月平均。6年2月は速報値。

[資料：経済産業省]

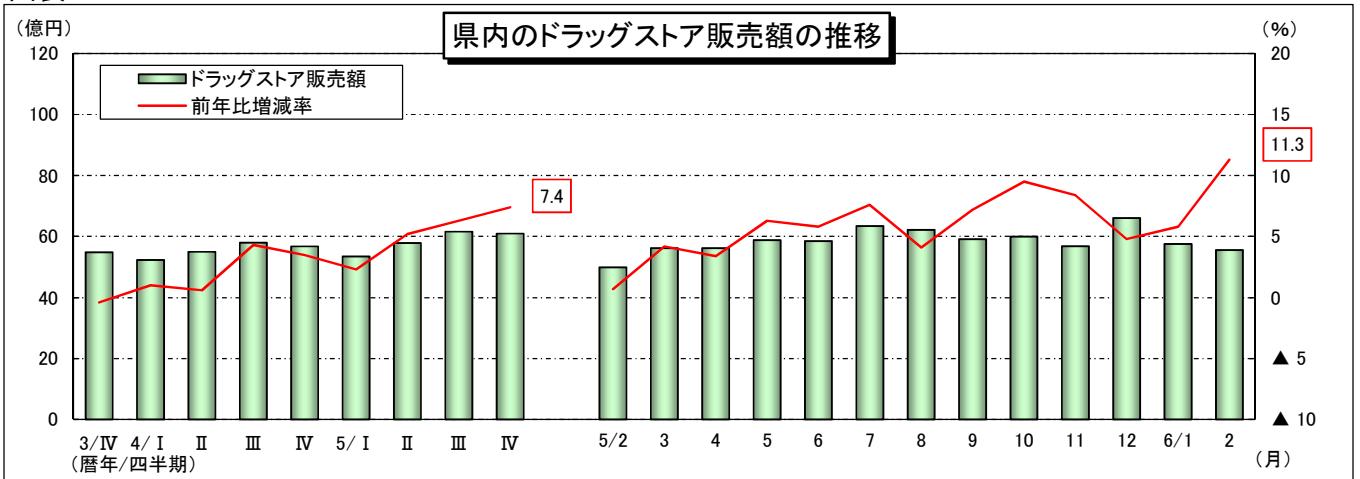
図表2



(注) 四半期の棒グラフは月平均。6年2月は速報値。

[資料：経済産業省]

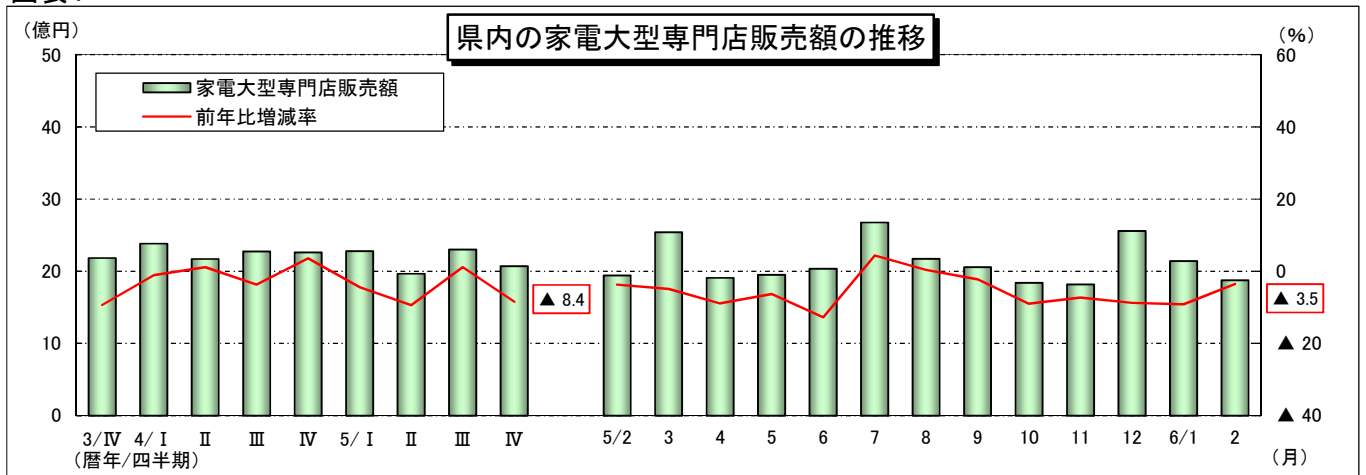
図表3



(注) 四半期の棒グラフは月平均。6年2月は速報値。

[資料：経済産業省]

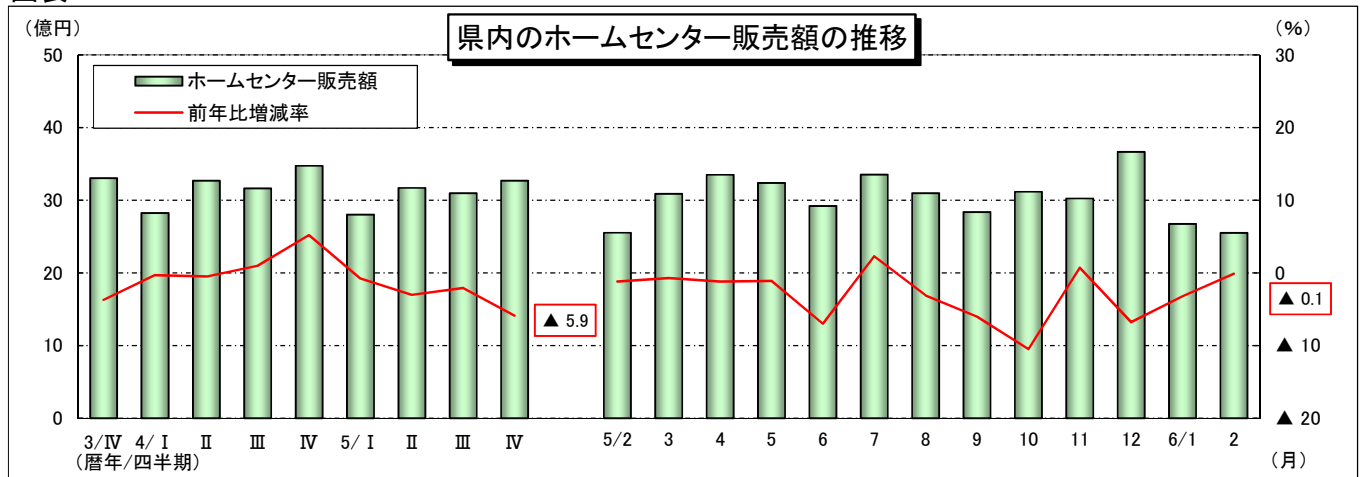
図表4



(注) 四半期の棒グラフは月平均。6年2月は速報値。

[資料：経済産業省]

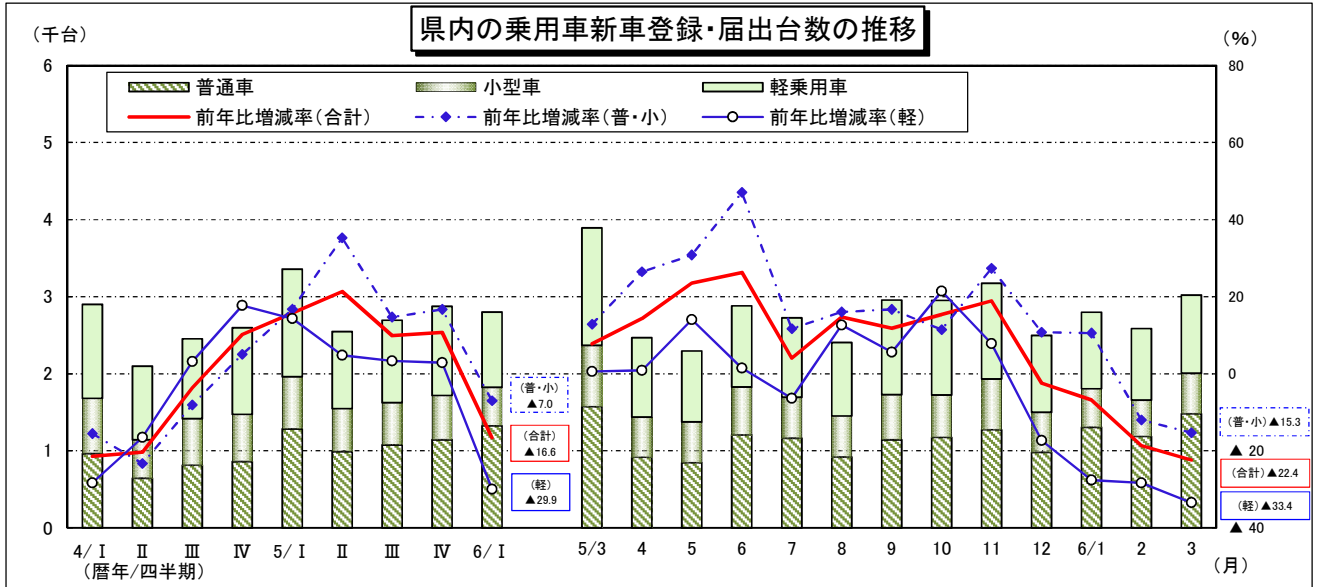
図表5



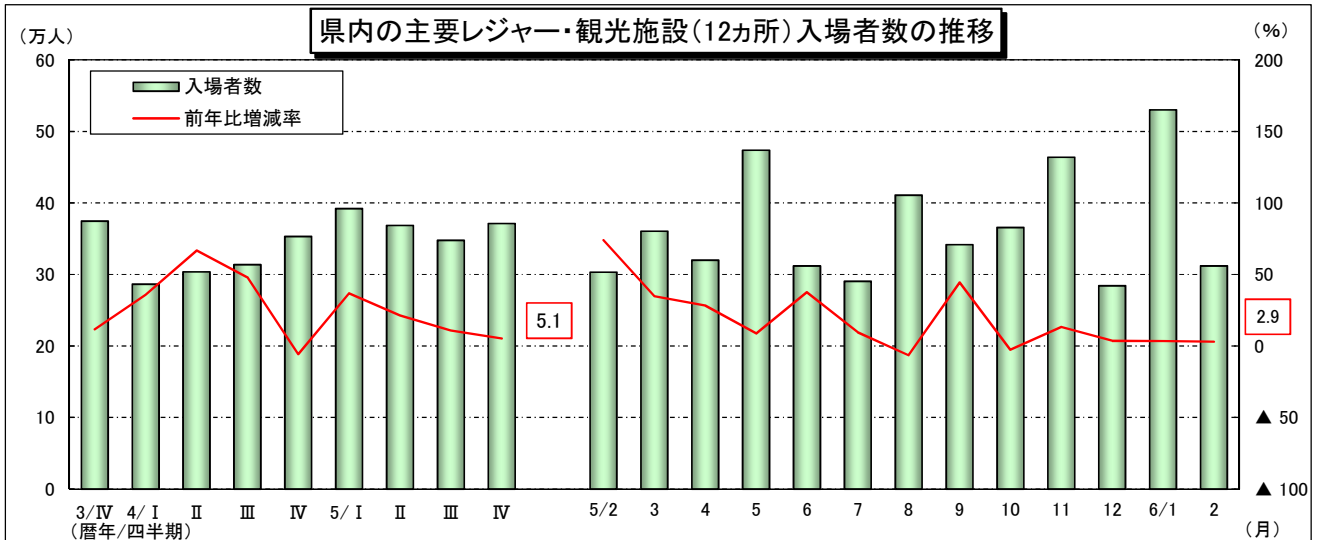
(注) 四半期の棒グラフは月平均。6年2月は速報値。

[資料：経済産業省]

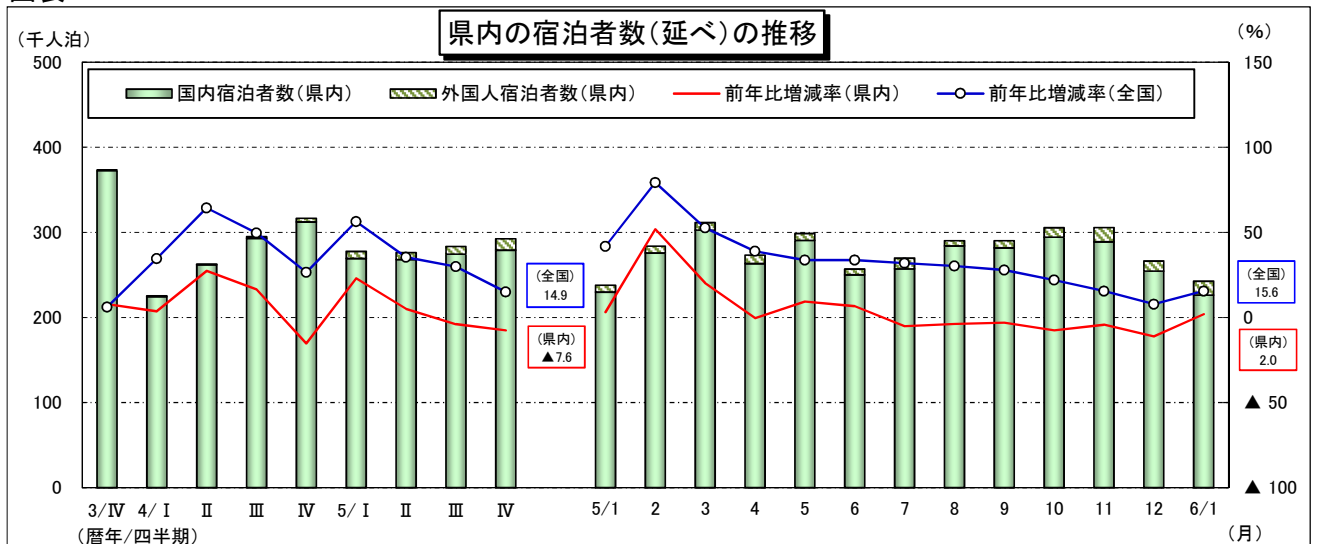
図表6



図表7



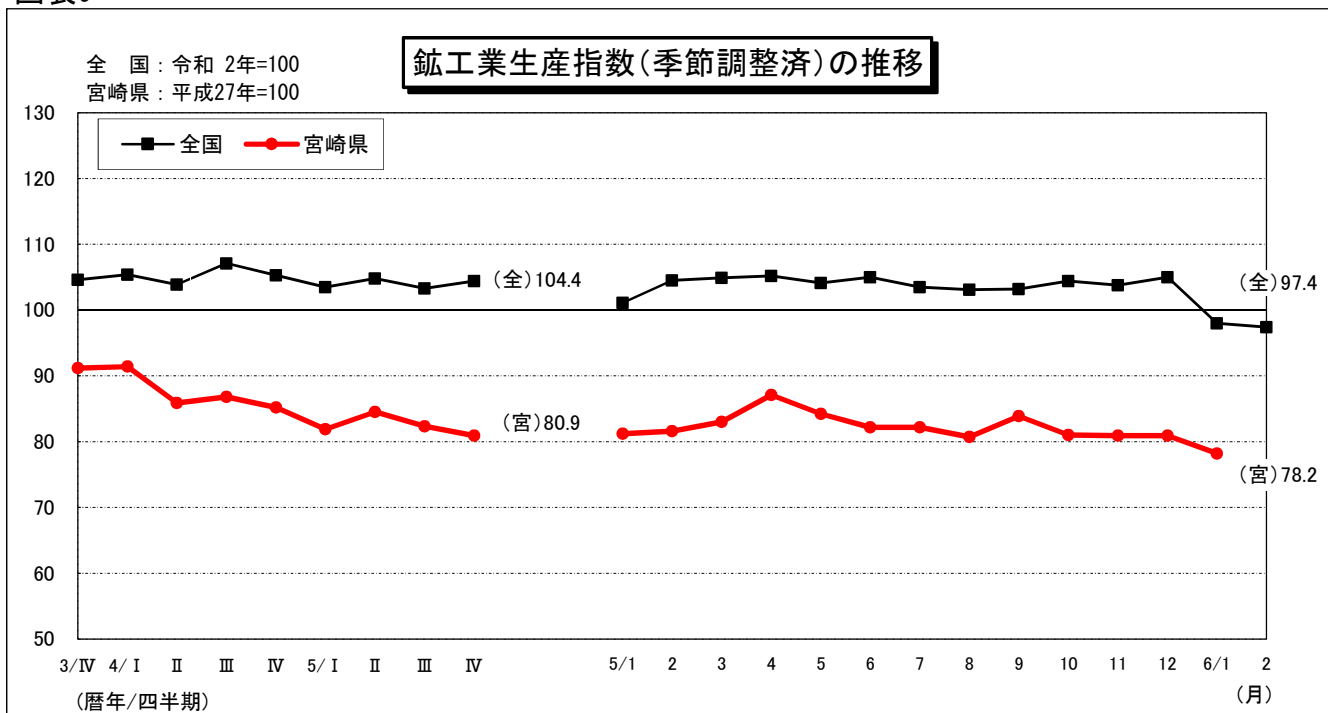
図表8



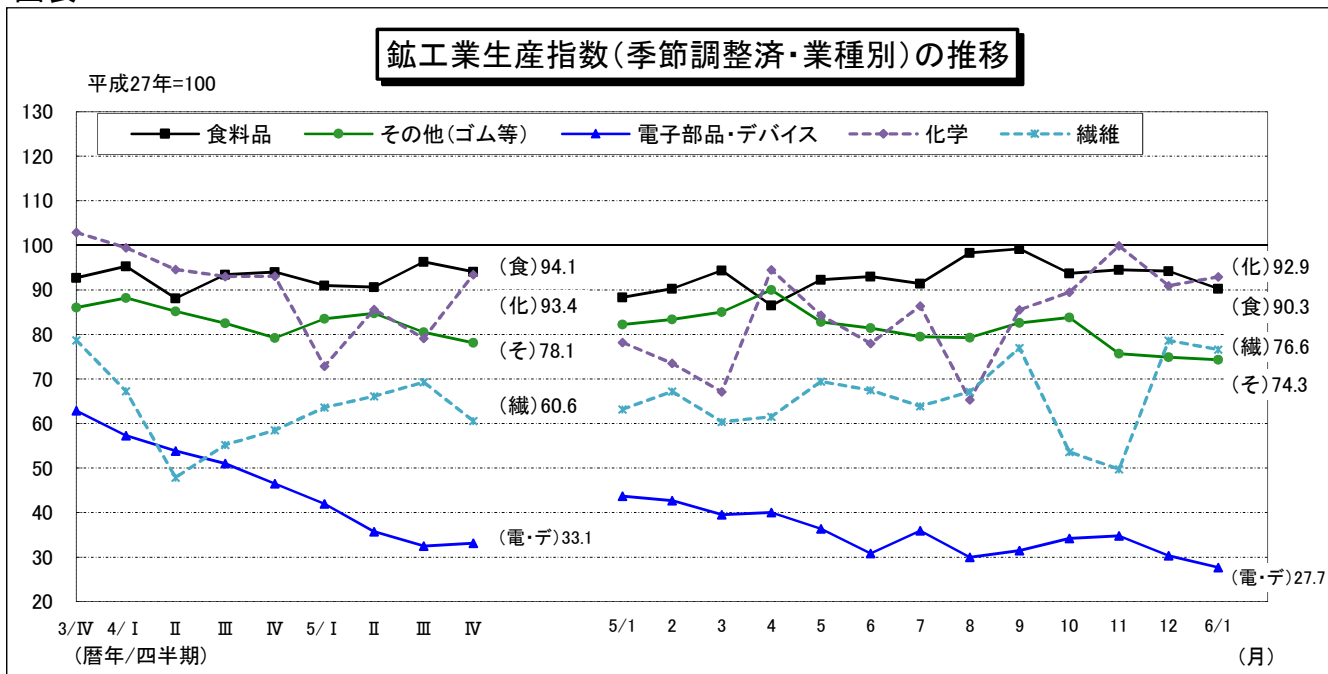


## 2. 生産活動

図表9

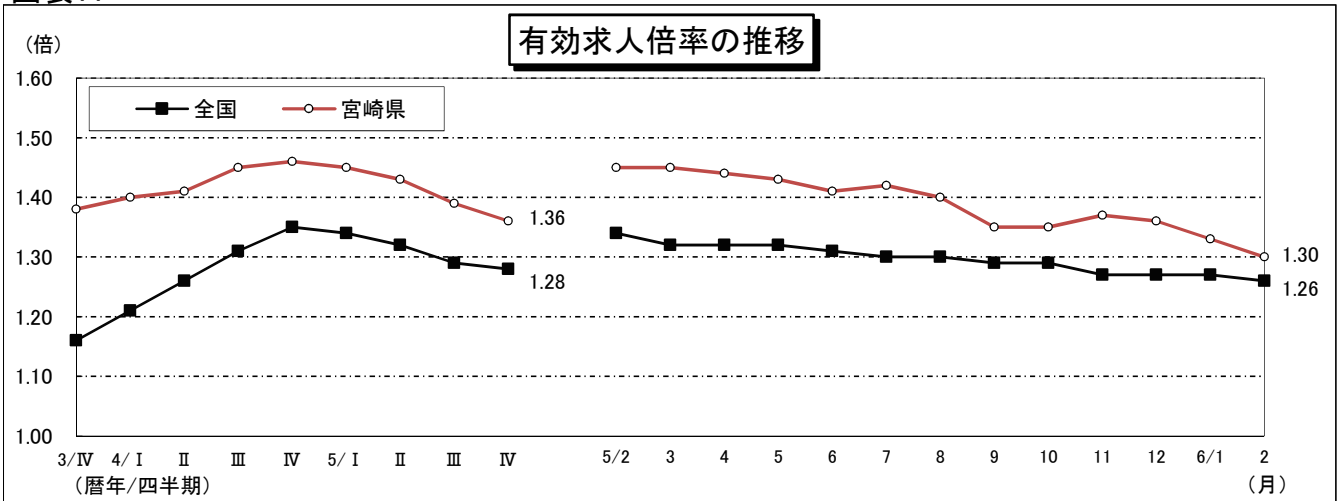


図表10



### 3. 雇用情勢

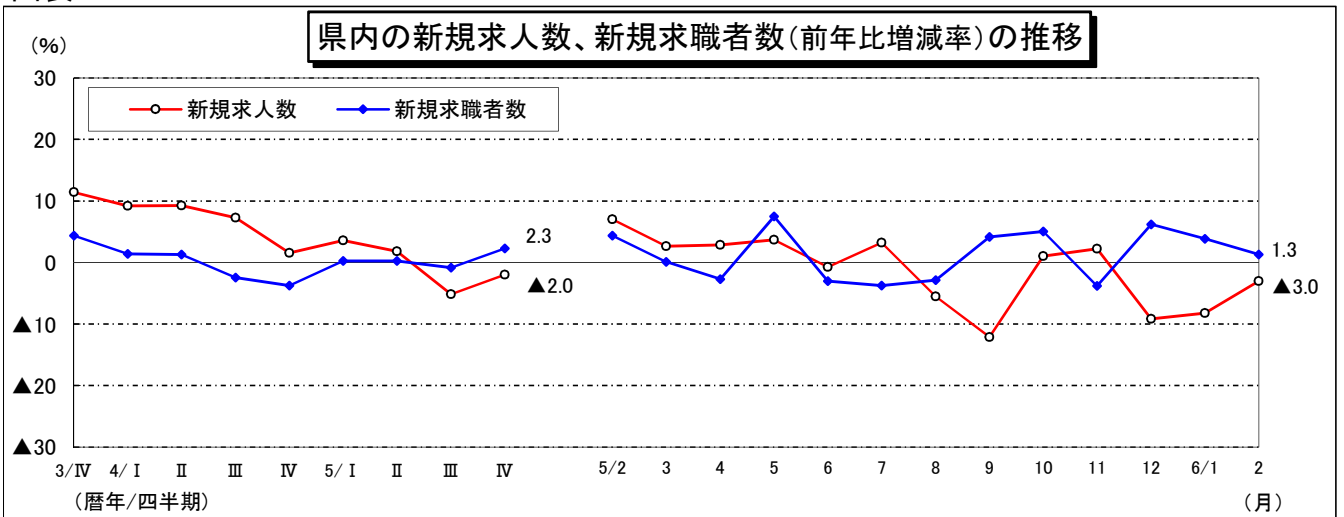
図表11



(注) 季節調整値、パートを含む。

[資料：厚生労働省]

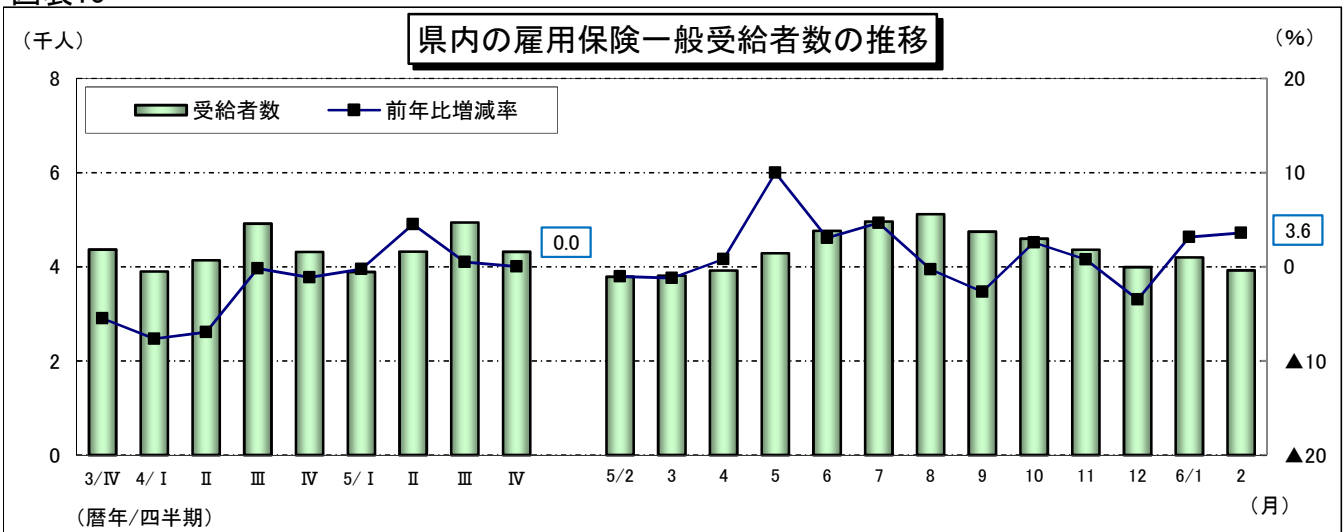
図表12



(注) 原数値、パートを含む。

[資料：厚生労働省]

図表13

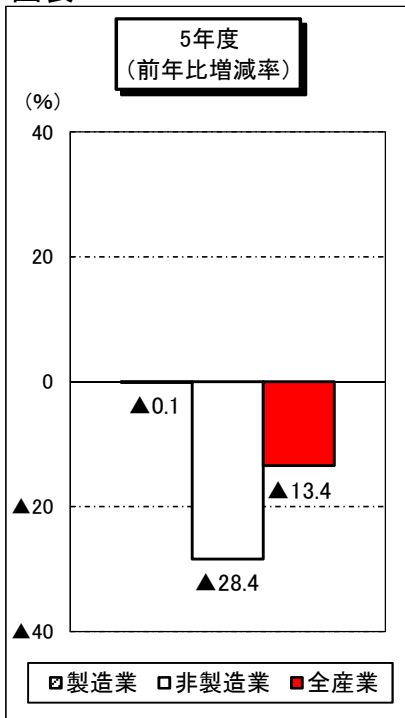


(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料：宮崎労働局]

## 4. 設備投資

図表14

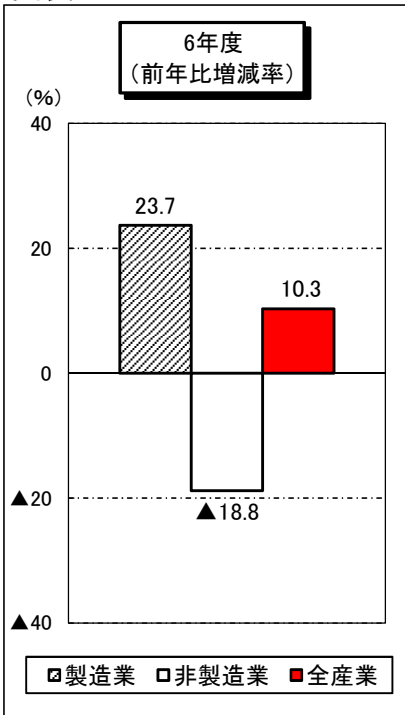


(単位：社、%)

		回答 企業数	5年度 (前年比増減率)
全	産 業	85	▲ 13.4
	製 造 業	32	▲ 0.1
	非製造業	53	▲ 28.4
規 模	大 企 業	12	▲ 32.9
	中堅企業	27	38.4
	中小企業	46	▲ 33.0

[資料：宮崎財務事務所 法人企業景気予測調査（6年1-3月期調査）]

図表15



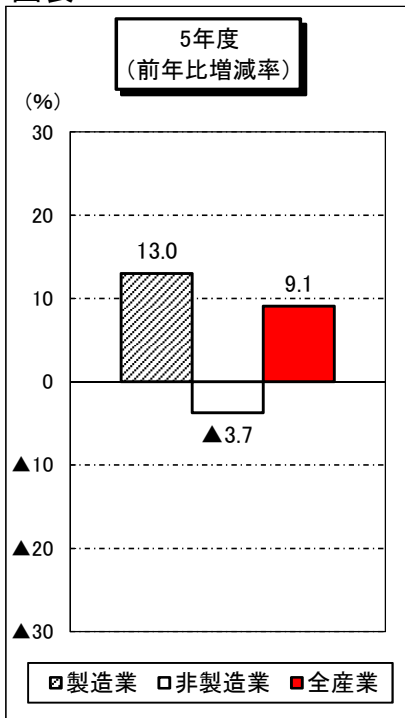
(単位：社、%)

		回答 企業数	6年度 (前年比増減率)
全	産 業	74	10.3
	製 造 業	30	23.7
	非製造業	44	▲ 18.8
規 模	大 企 業	8	29.3
	中堅企業	24	▲ 3.2
	中小企業	42	29.4

[資料：宮崎財務事務所 法人企業景気予測調査（6年1-3月期調査）]

## 5. 企業収益

図表16

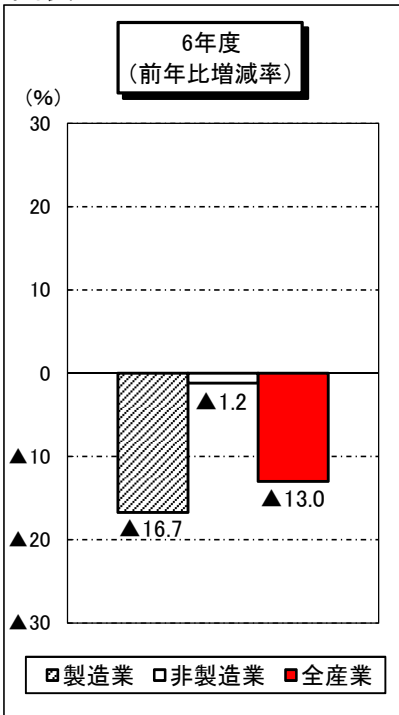


(単位：社、%)

		回答 企業数	5年度 (前年比増減率)
全	産業	71	9.1
	製造業	28	13.0
	非製造業	43	▲ 3.7
規	大企業	7	▲ 7.3
	中堅企業	25	83.1
	中小企業	39	2.4

[資料：宮崎財務事務所 法人企業景気予測調査（6年1-3月期調査）]

図表17



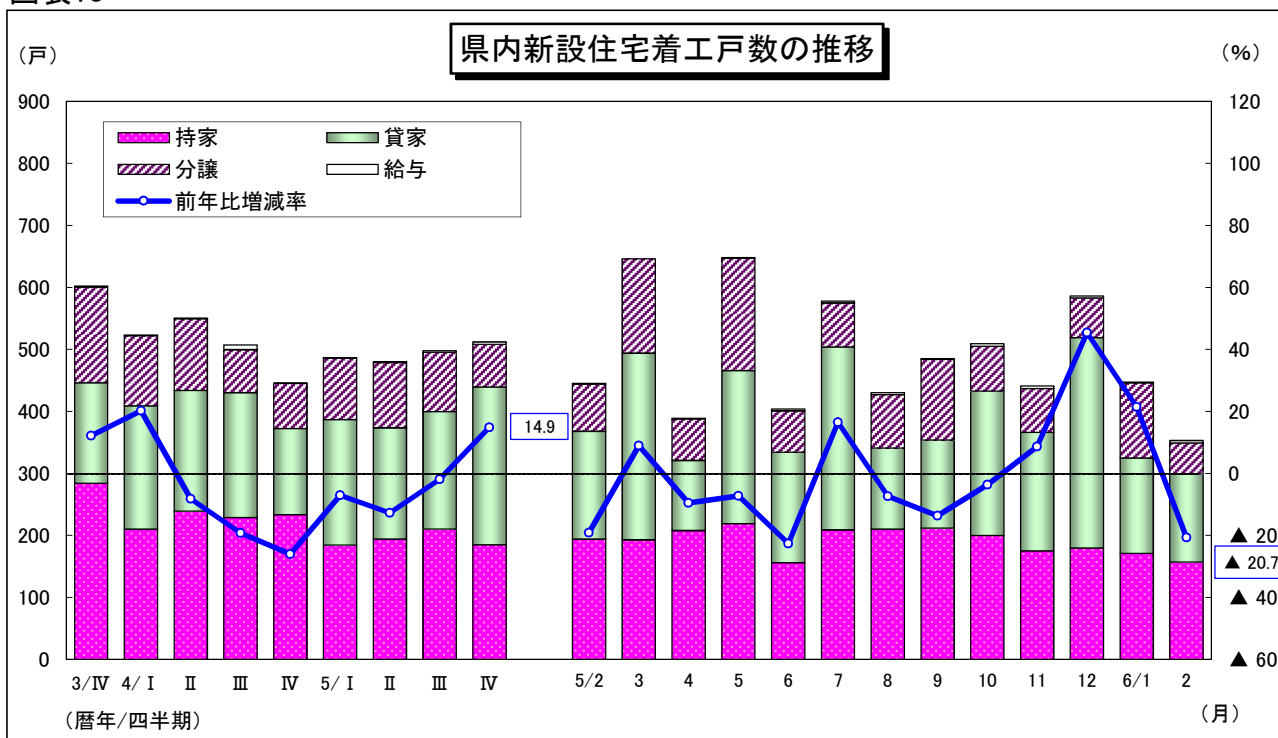
(単位：社、%)

		回答 企業数	6年度 (前年比増減率)
全	産業	62	▲ 13.0
	製造業	26	▲ 16.7
	非製造業	36	▲ 1.2
規	大企業	5	▲ 20.2
	中堅企業	22	▲ 0.1
	中小企業	35	▲ 14.9

[資料：宮崎財務事務所 法人企業景気予測調査（6年1-3月期調査）]

## 6. 住宅建設

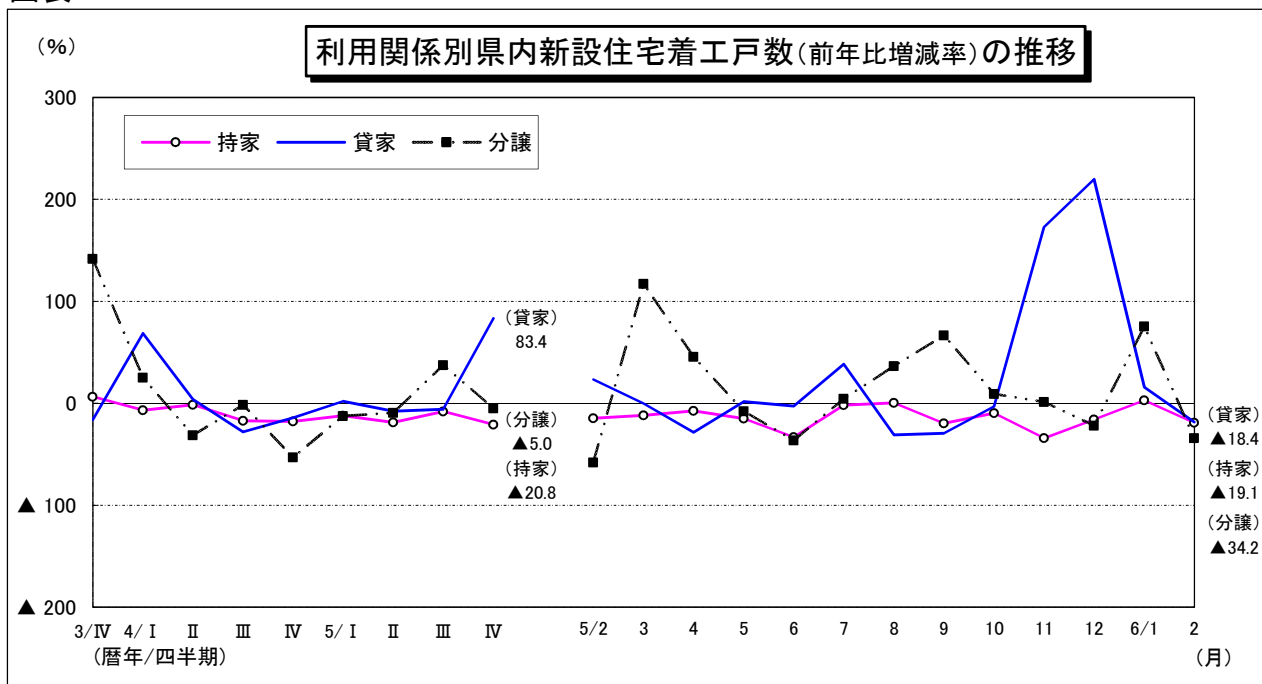
図表18



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料：国土交通省]

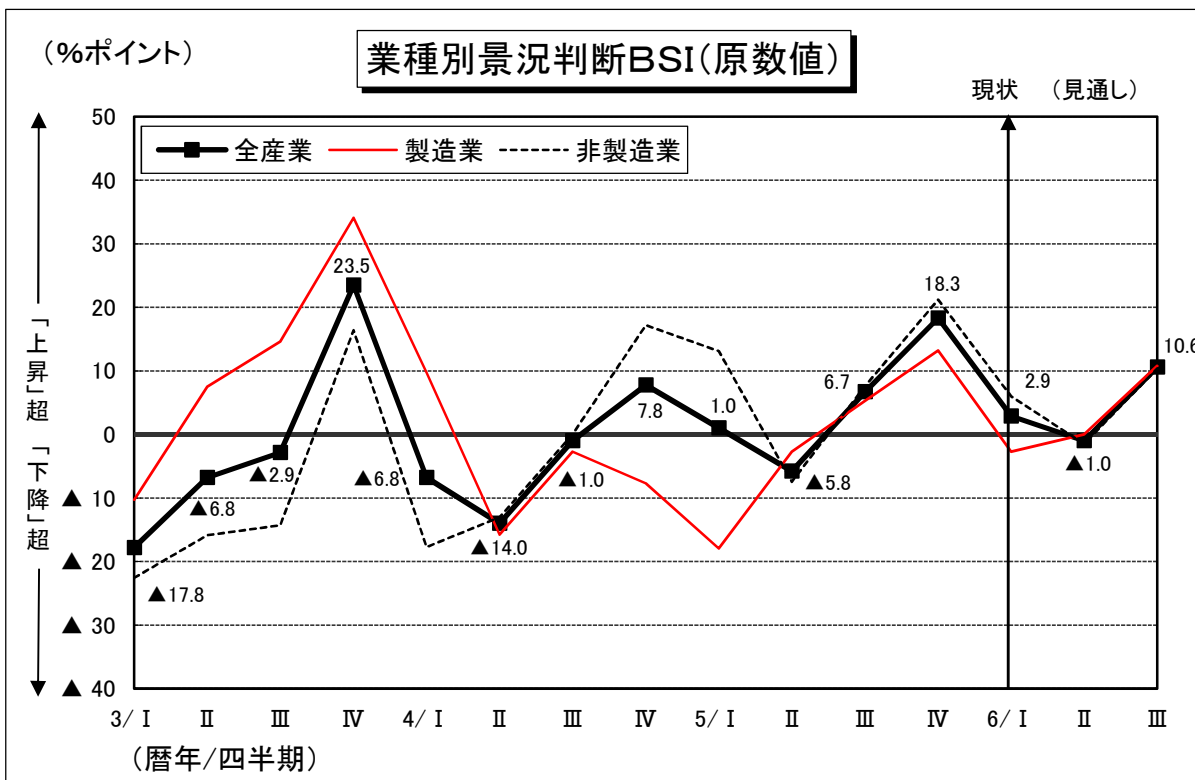
図表19



[資料：国土交通省]

## 7. 企業の景況感

図表20



(注) グラフの数値は全産業のBSIを表記している。

### 景況判断BSI (前期比「上昇」－「下降」の企業数構成比)

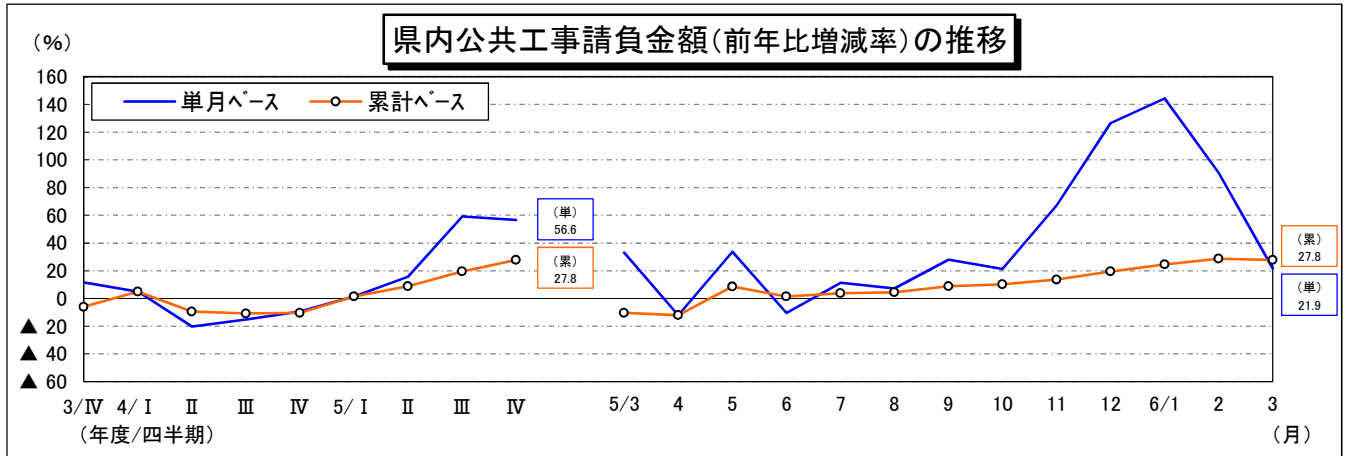
(単位：社、%ポイント)

		回答 企業数	5年10-12月 (前回調査)	6年1-3月 (現状判断)	6年4-6月 (見通しI)	6年7-9月 (見通しII)
全産業	全産業	104	18.3	2.9	▲1.0	10.6
	製造業	37	13.2	▲2.7	0.0	10.8
	非製造業	67	21.2	6.0	▲1.5	10.4
規模別	大企業	13	23.1	▲15.4	0.0	15.4
	中堅企業	36	14.3	▲11.1	0.0	11.1
	中小企業	55	19.6	16.4	▲1.8	9.1

[資料：宮崎財務事務所 法人企業景気予測調査 (6年1-3月期調査)]

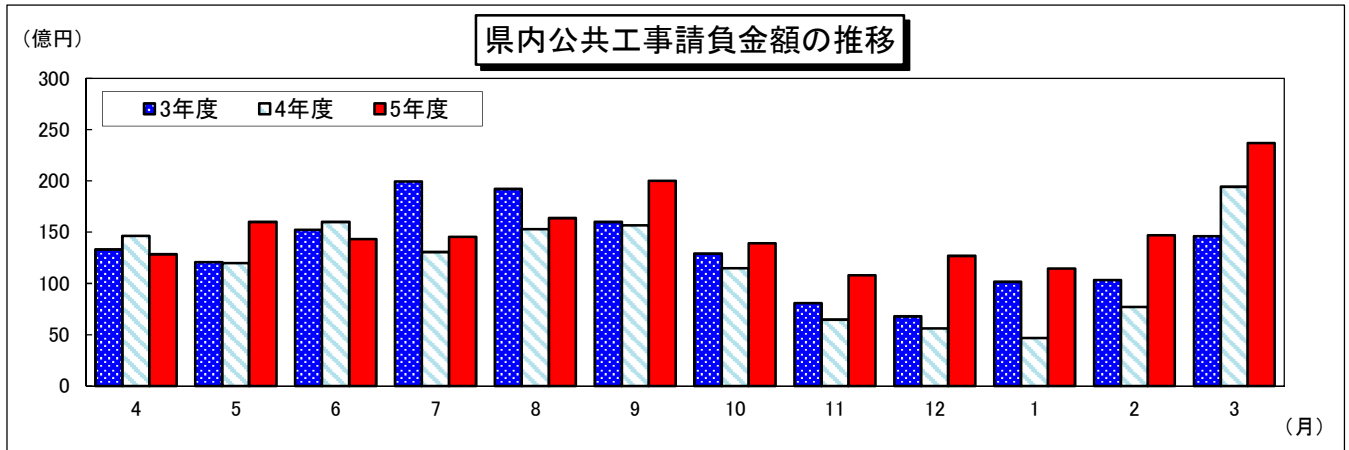
## 8. 公共事業

図表21



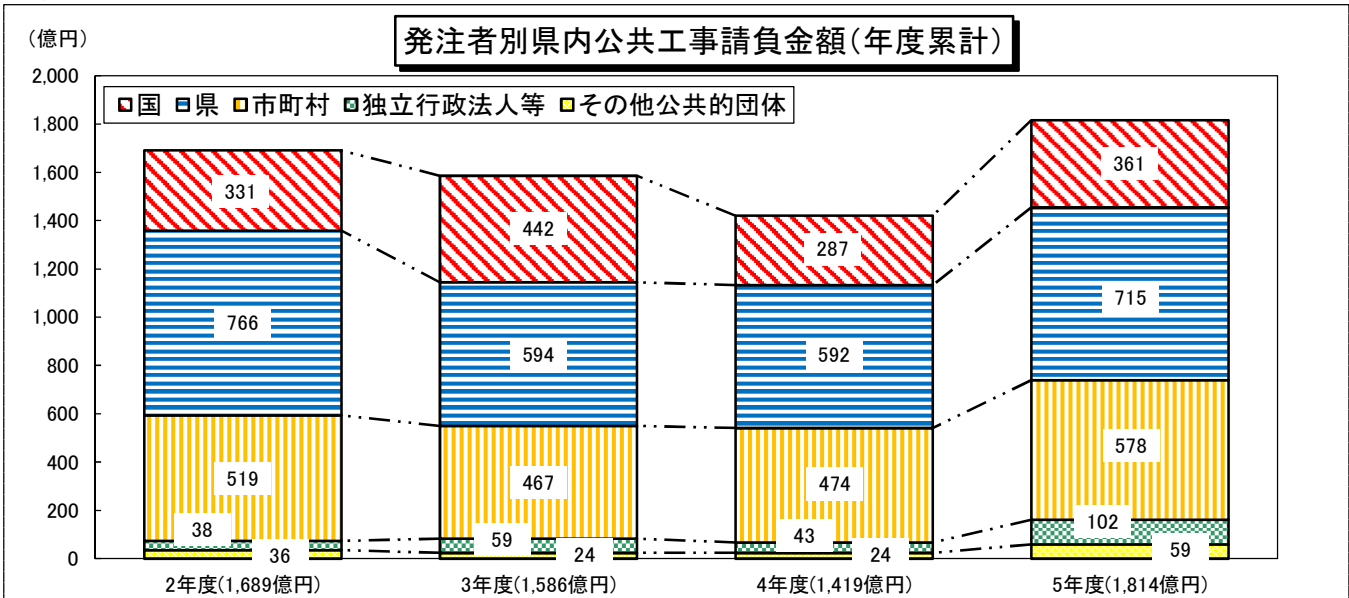
[資料：西日本建設業保証株式会社ほか]

図表22



[資料：西日本建設業保証株式会社ほか]

図表23

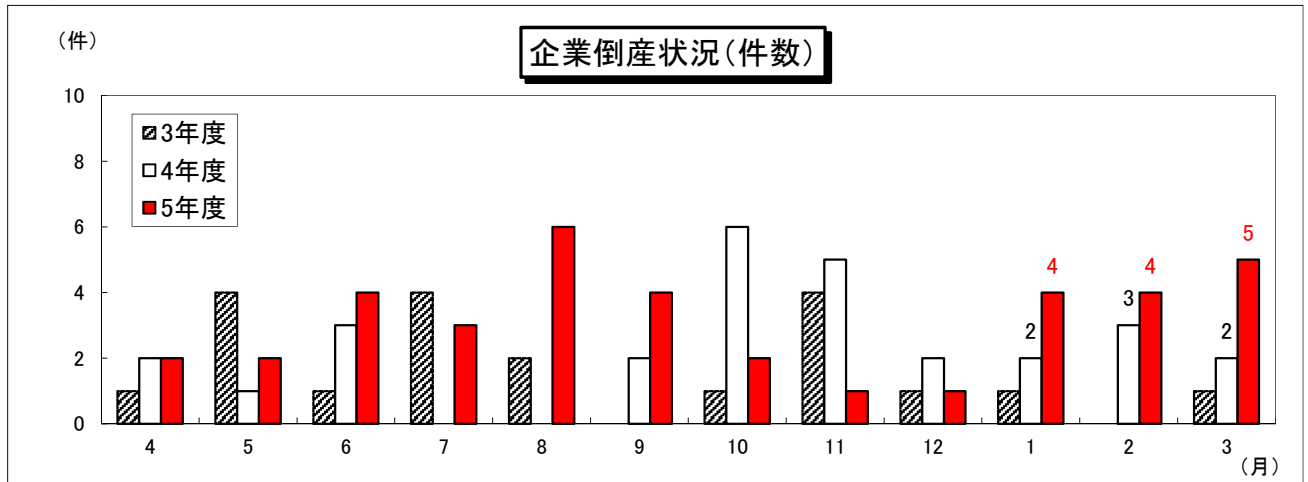


(注) 端数処理(四捨五入)の関係で、合計金額が一致しないことがある。

[資料：西日本建設業保証株式会社ほか]

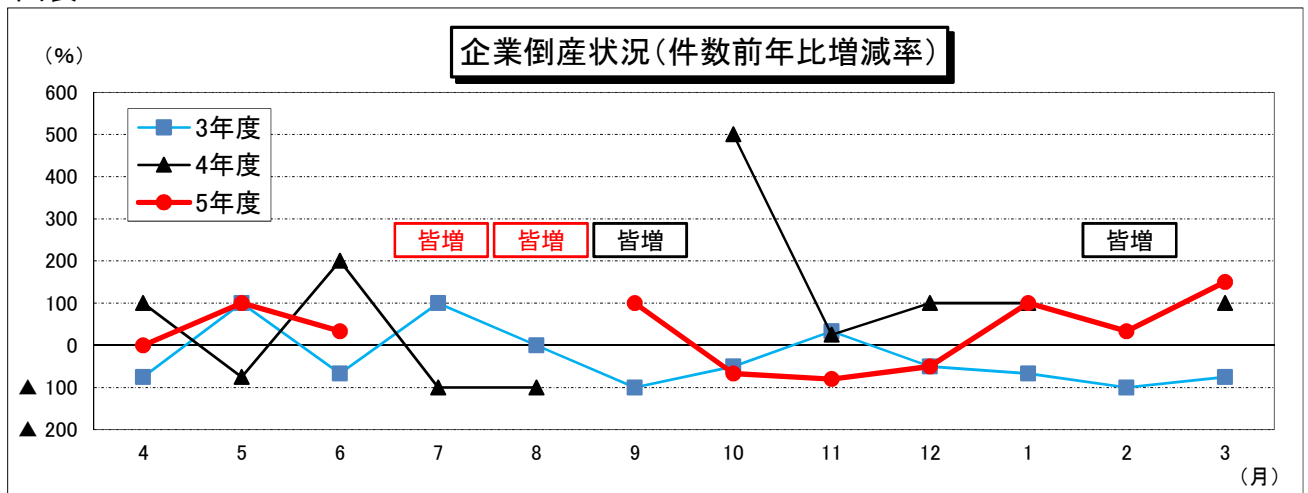
## 9. 倒産

図表24



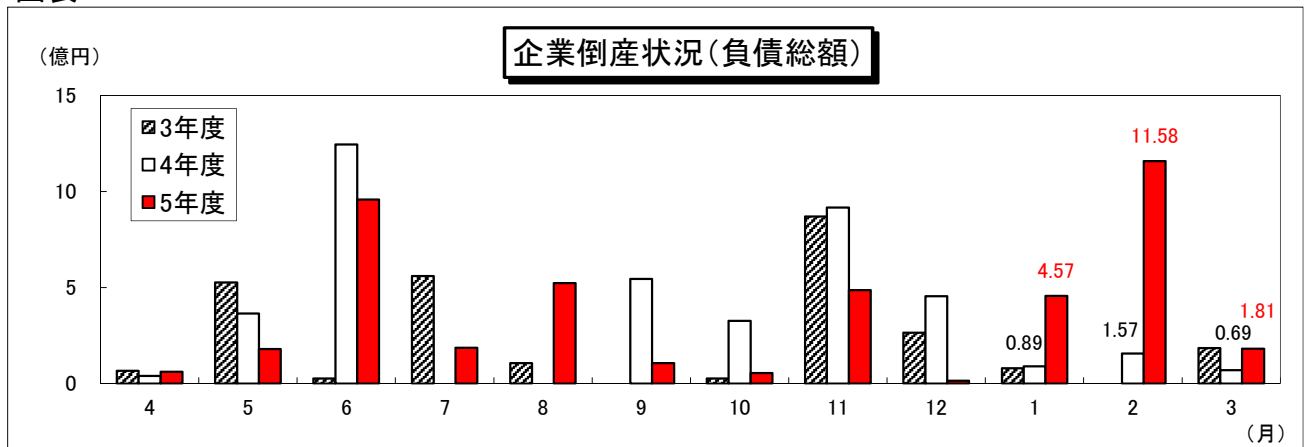
[資料：東京商工リサーチ]

図表25



[資料：東京商工リサーチ]

図表26



[資料：東京商工リサーチ]